

教育
相談室

カウンセラーの窓から

「自分を大切に思ってくれている人がいると思いますか？」という問いかけに、市内の中学生の八割以上は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えましたが、「いるとは思わない」と感じている生徒も少数あったそうです。

中学三年の那美（仮名）は、そのわずかな中の一人でした。那美は休み明けになると腹痛を訴えて保健室に行く日が増え、学校を休むこともたまにあり、心配した担任の先生の勧めで、相談室に来ることになりました。

「自分が大切に思ってくれている人がいると思いますか？」という問いかけに、昨日は学校を休みました。」と那美。

私は、心とからだはつながっていて、心に何か不安や心配事があると、腹痛など色々な形からだの不調に表れる生徒もいるという事を伝えました。

聞いてもらえる心地良さ

今回の事では、家の人たちが、交代で送迎をしてくれました。「きょうは何ともなかったか？」と聞いてくれる家族と、行き帰りに車の中で会話を交わすひとは、学校では気を張ってしまいがちな那美にとって、何より心地良い時間となったようです。

いつの間にか、お腹の調子も以前ほど気にならなくなり、教室に居ても大丈夫と思えるようになりました。

「自分は大事に思われている」という実感に乏しいと、子どもはある日思わぬ形で、「自己主張」に出ることがあります。それは、からだの不調に表れたり、とげとげしい言い方やいらいらした態度に表れたりします。子どもによっては学校に行けなくなってしまう、親を驚かすことも珍しくありません。

そのような時、周囲がじっくり話を聞いて向き合う事で、子どもは自分が大切にされていることに気づき、自信をつけていくのです。

(T・S)

初めての面談に緊張気味の那美でしたが、ゆったりとしたソファにすわりながら、文化祭で見た那美の家庭科作品を褒めると、彼女の表情が和みました。そこで、「お腹の調子は最近どう？」と尋ねてみました。

「教室にいととお腹が鳴って、周りの子に聞こえたかと思うと、先生の話にも集中できません。保健室に行った時もあったけど、授業中に自分から何度も行けないで

「そうか。私だけがおかしいんじゃないかった。」と少し安心した那美を確認して、「それで、おうちの人はどうおっしゃってるの？」と尋ねてみました。「きょうはお母さんが『休んだらあかんよ。』って言うから、送ってもらって来ました。」「そう、お母さんが背中を押してくれてるって感じかな。それは心強いね。」「だって、厳しいもん。でも、この頃、前よりはやさしくなった気がする。」と話してくれました。

ひとりでなやまないで ヤングテレホン にお電話ください

丹南青少年愛護センターでは、青少年やその保護者からの相談に応じています。あなたの気持ちが整理できるかもしれません。学校のこと、家庭のこと、友だちのこと、聞かせてください。

丹南青少年愛護センター
鯖丹支所 52-6114
月~金 8:30~17:15

「はぐみ」は、家庭のあり方についてみなさんと一緒に考えていきたいと願い発刊しております。子育てのヒントになればと思います。ご意見をお聞かせください。

鯖江市教育委員会生涯学習課 TEL 53-2256

はぐみ

家庭教育を考えるシリーズ

発行
鯖江市教育委員会
鯖江市社会教育委員会
青少年健全育成鯖江市民会議

協力
丹南青少年愛護センター鯖丹支所

41号

子どもは 社会の宝です



鯖江東小学校「火おこし体験」



河和田小学校「ふれあいオープンスクール」



中央中学校「職場体験」



ゆたかこども園「わあー！本物のにわとりだー！」



片上幼稚園「お店屋さんごっこ」

